

インド

健康な森、健康な人々、気候変動プロジェクト
西ガーツ北部の生物多様性保全と持続可能な生計支援
現地からのお便り

2018年1月
Applied Environmental Research Foundation (AERF)
コンサベーション・インターナショナル

*本プロジェクトは、インドの地元 NGO である Applied Environmental Research Foundation (AERF)が実施します。

保全契約

AERF チームはこの四半期に、サンガメシュワ地区の Wadi Adhishiti、Khadi Kolwan、Devade (Chinchwalkar Wadi) という 3 つの村で保全契約を締結し、さらに 129 エーカー (約 52 ha) のコミュニティ保有林で保全と管理を進めていけることになりました。この契約は、これらの村に住む 26 人に直接的な便益を提供します。保全契約は今後 10 年間にわたって、西ガーツの生物多様性ホットスポットで森林減少を抑え、絶滅のおそれがある生物多様性を守っていくことに大きく貢献します。



Wadi Adhishiti 村で AERF チームのメンバーに保全契約を締結した森を見せる森林所有者



Devade (Chinchwalkar wadi) 村での保全契約への署名の様子

生物多様性と炭素貯留量の評価

AERF の現地チームは、Ujgaon、Anaderi、Wadi Adhishiti、Devghar という 4 つの村のコミュニティ保有林で、簡易な生物多様性の調査と炭素貯留量の評価を行いました。Wadi Adhishiti と Ujgaon の 2 つの村で生物多様性の調査を終え、Anaderi と Devghar の 2 つの村で炭素貯留量の評価を終えました。26 エーカー（約 10 ha）にわたって行われた Ujgaon での生物多様性の調査では、57 種の木々、20 種のつる性植物、19 種の低木、11 種のハーブが見つかりました。また、45 種の鳥、7 種の哺乳類、36 種の蝶も見つかりました。このことから、西ガーツ北部の森は高い保全価値があることが分かります。

Devghar 村の森で行った炭素貯留量の評価では、平均すると 1 エーカー（約 0.4 ha）当たり 15 トンの炭素が貯留されていることが分かりました。これらの数字は保全契約下にある全森林の 10%に当たる場所で収集したデータから推計したものです。そのため、正確な数字を算出するには詳細な調査が必要です。



炭素貯留量の評価を行う AERF の現地チームと地元のコミュニティ

保全契約下にある森林での野生生物のモニタリング

西ガーツ北部の森を守ることは、植物や昆虫、鳥の多様性の保全に加えて、重要な野生生物生息地の通り道を守ることに貢献します。それは、ここが隣り合う保護地域であるチャンドリ国立公園やコヤナ野生生物保護区を結ぶ場所であるためです。そのため、保全契約が結ばれた森にいる野生生物の存在とその動きを理解することが大切です。モニタリングをすることでこれらの森の保全価値と、長期間にわたって生息地を守っていくことの必要性が明らかになります。

AERF の現地チームは、Anaderi 村で保全契約下にある森の様々な場所にカメラトラップを仕掛け、3 回にわたる野生生物のモニタリングを終えました。これらの調査の結果、この森を守ることが非常に重要であることが分かりました。絶滅の危機にあるセンザンコウやなか

なか見つけられないベンガルヤマネコの姿が、森に仕掛けたカメラに写っていました。カメラは、ヒョウ、サンバー鹿、マメジカの姿も捉えていました。



オスのヒョウとホエジカの夫婦



オスのサンバー鹿とボンネットモンキー



Anaderi 村のコミュニティ保有林でのセンザンコウ (Indian ground pangolin) と ベンガルヤマネコ

フェアワイルド認証を受けた資源のある地域がさらなるサイチョウの営巣地を保全

この四半期に、サンガメシュワ地区にあるフェアワイルド認証を受けている地域で、セイタカミロバラン (*Terminalia bellirica*) の実の採取の準備をしました。今シーズンに実を採取する木を調べているときに、私達は Devale 村でフェアワイルド認証を受けた資源のある地域が、サイチョウに営巣場所を提供しているのに気づきました。ここは、フェアワイルド認証による収集のために、継続的なモニタリングと資源のある地域の保護によって守られた、2つ目のサイチョウの営巣地です。この四半期の終了までに、AERF の現地チームは 350 キログラムのセイタカミロバランの実を収集しました。

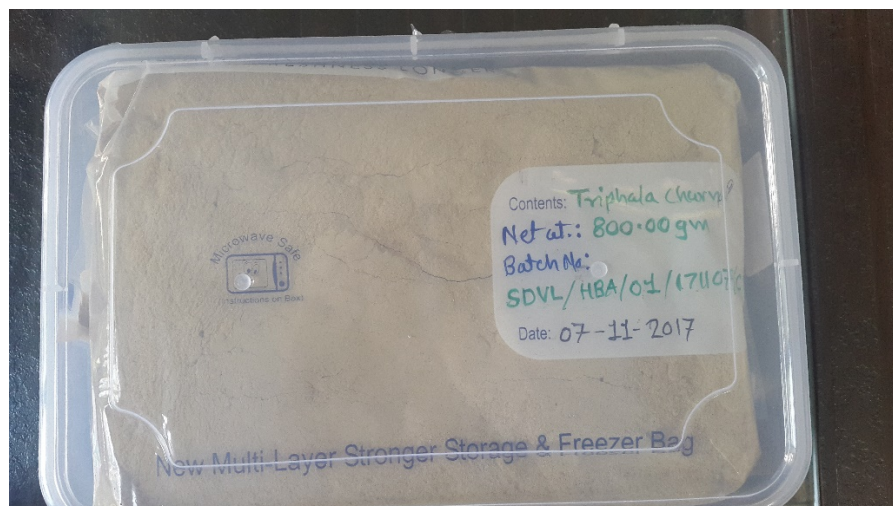


フェアワイルド認証を受けた資源のある地域にいるサイチョウと、Devrukhh の加工施設で実を乾燥させている様子

エピソード

AERF が設立した民間企業である Nature Connect は、イギリスの Pukka Herbs 社からフェアワイルド認証を受けたトリファラについて、試験的に 300 キログラムの注文を受けました。トリファラは、セイタカミロバラン、ミロバラン (*Terminalia chebula*)、アマラキ (*Phyllanthus embellica*) という 3 つの実を同量ずつ混ぜて作られます。

より重要なことに、Devrukhh にある Nature Connect の加工施設で作られフェアワイルド認証を受けた 800 グラム分のトリファラのサンプルが、イギリスでの品質検査に合格しました。これは、生物多様性の保全と持続可能な生計の獲得に向けて私達が進めているフェアワイルド認証を受けたサプライチェーンから、より付加価値の高いものを生み出せるようにしていくための重要な進歩です。もし成功裏にスケールアップしていければ、このバリューチェーンによって、地元のコミュニティが、同量の実の収集で 2 倍の収入を得ることができるようになります。



イギリスの Pukka Herb 社に送られたフェアワイルド認証を受けたトリファラのサンプル